



秋の褒章 おめでとうございます



黄綬褒章
 奥迫 義則さん (60) 三菱重工マシナリーテクノロジー株式会社所属


溶接作業の中で最も難易度が高いとされる「全姿勢による完全溶け込み溶接」に関し、港湾荷役用クレーンや製鉄所レールクレーンの製造(※)において高度な技術を有することが認められ、受章されました。

※あらかじめ製造した複数のクレーン本体構成部品(ブロック)を屋外で溶接接合し、組立てる作業


第65回“社会を明るくする運動” 作文・標語コンテスト 受賞・入選

小学生の作文の部

広島保護観察所長賞 **入選**



題名「社会を明るくする運動」
川田小学校4年
ながき 永木 強さん



題名「ほくの「勇気」」
小田東小学校6年
なかの 中野 駿介さん

平成27年度明るい選挙啓発ポスターコンクール 入選

広島県入選



向原中学校1年
まつもと 松本 那由花さん



吉田中学校2年
きまが 木坂 萌夏さん

地域包括ケアシステムの構築に向けて

我が国における10年後の介護給付費・医療費は、今日の状況でこのまま推移すれば、介護給付費が100%、医療費は50%アップすると推測されています。安芸高田市においても、急速な少子高齢化の進行に伴い、医療・介護・生活支援を必要とする高齢者の増加と、高齢者を支える現役世代の減少が顕著となり、非常に危惧される状況が想定されます。

平成12年に介護が必要となる高齢者を社会全体で支える仕組みとして、介護保険制度が創設されました。平成24年の介護保険法の改正においては、高齢者が適切な介護サービスを利用しながら、自分の暮らす地域で自立した生活を送れるよう、団塊の世代が75歳以上となる2025年までには介護予防・日常生活支援体制を整える。そのために必要となるのがこの「地域包括ケアシステム」であるとの指標が明示されました。

地域包括支援センターの設置や介護サービス拡充、地域密着型サービスの創設など、地域において可能な限り安心して生活できるための制度・施策が、徐々に整備されてきています。今後の高齢者福祉計画・介護保険事業計画においては、これまで実施してきた介護予防施策をさらに充実し発展させていくことが大切になります。これまでの全国一律的な介護サービスのみではなく、医療や介護、生活支援等の様々なサービスが切れ目なく提供できる体制が必要となります。今後安芸高田市では、人口が減少する一方で、高齢化率はますます高くなる見込まれます。高齢者が住み慣れた地域で生活を継続するためには、医療・介護等の社

市長コラム

ワイド版

第90回

会資源に加え、生活支援サービスや地域住民の支え合いなどによる地域包括ケアシステムの構築がとて重要になります。

この地域包括ケアシステムを構築するためには、多職種間の連携はもとより、民生委員児童委員・行政嘱託員・地域振興会・老人クラブ等の地域の皆様の協力が不可欠であります。

安芸高田市の課題としては①家庭が散在し、高齢者が外出するのに時間がかかる。新交通システム・お太助ワゴンの活用により、ある程度のカバーは可能)、②市民の皆様への包括ケアの周知が浸透しきれていないため、介護度・認知症の重症化への対応が遅くなり、早期予防に結びついていない状況がある、③高齢単身者・高齢者夫婦のみの世帯がそれぞれ14.7%、16.2%(広島県の平均値は、高齢単身10.1%、高齢夫婦11.5%)と非常に高い、また、運営上の課題としては、①個人から地域の課題へ繋げる意識が乏しい、②ボランティア機関に頼りすぎている側面がある、③認知症に対する住民理解のさらなる促進が必要である、等が考えられます。今後の取り組みとしては、平成18年に設置した地域包括支援センターの効率的な活用と、地域との繋がりを主体とした地域支援体制を充実整備する必要がある、また、現在開催されている地域ケア会議のさらなる充実強化が求められます。

私は、今後ますます高齢化が進む安芸高田市にとって最も大切なことは、市民の皆様が今後の生活に對して不安が生じないように、行政の対応は無難なことですが、地域で支えるための仕組みづくりであると思っています。そのためにも、行政が責任を持って、関係組織・機関・団体との連携のもと、地域の皆様の生活様式ライフスタイルを把握し、地域包括ケアシステムに反映することが大切であります。また、住民各々に適応した在宅サービス・施設サービスを、時系列を追って明確に示すことが、市民の皆様の安心に繋がると思っています。

家売れば釘の価値

はじめまして。協力隊員リーコラム6回目を担当させていただきます。春に大阪からこちらへ来て、訪れたい本格的な冬の訪れと聞きました。こちらは寒いと聞いていました。暖房器具はこたつのみでなんとか年を越せるかなとこの原稿を書きながら思っています。

そんな私は現在空き家情報バンクという制度を中心にした活動としております。

空き家情報バンクとは、空き家を売りたい・貸したいという意向のある方に空き家を登録して頂き、それとは別に登録している空き家情報バンク利用希望者へ紹介をする制度です。

今年度の空き家情報バンクの利用状況としては空き家バンク新規登録数が25戸、新規利用希望者登録数が63戸、成立件数が17件となっております(※12月24日現在)。この数字に多い数字ではありませんが、安芸高田市内にはまだまだ活用されていない空き家が多く残っている前々、空き家の状態が悪くなる前に、空き家の早急登録件数を増やさなければなりません。

家は空き家になって管理されなくなると、人が住んでいないと傷みはじめ、早いスピードで小動物等が住みつけ、様々な恐れもあります。ただ、

地域おこし協力隊 リレーコラム vol.6

内田 峻典さん (建設部 住宅政策課)



空き家の相談お待ちしています。
 <イメージ写真>

家というものは代々受け継がれてきた土地の上に建ち、様々な思い出が詰まった場所です。簡単に手放す事は難しく、思い詰めた場合、手放す事は、例えば家を貸すという方法もあります。家を貸すと共有敷地の草刈り等もお願います。水道や電気の固定費、固定資産税も浮かす事が出来ます。また、家を売った後、貸した後に外から来た方が地域に馴染めるだろうかと思いませんか。しかし、家を買いたい、借りたい方は市外の方だけでなく市内の方もかなり多く、特に若い夫婦がアパートに住んでいて、子どもが出来て少し手狭になったので家を探そうというパターンが多いです。そういう地元に残ろうという思いを持った方もいらっしゃると思いますので、空き家をお持ちの事で、空家がいらついで一度相談へいらついで

減らそう犯罪 買い取り商法に気を付けて

買い取り商法とは、電話で「古着を引き取ります」などと言って来訪しながら古着は引き取らず貴金属を要求し、「ない」と断っても出すまで居座り強引に買い取りをする手口です。

最初の約束と違う場合は、はっきり断り、断っても居座って帰らない場合は警察に連絡をしてください。

危険を感じたら110番!



安芸高田警察署交通ミニコーナー H27.12末現在

●平成27年交通事故発生状況(年間累計) 安芸高田警察署管内

区分	平成27年	平成26年	前年同期比増減数
人身事故	95件	117件	-22件
死者数	4人	0人	+4人
負傷者数	130人	172人	-42人

平成27年交通事故の特徴

昨年の人身事故は、件数、負傷者数ともに減少しましたが死亡事故が4件発生し、そのうち3名が高齢者であり依然として高齢者の事故が多発しております。

死亡事故の形態は

- ・正面衝突2件
- ・単独事故1件
- ・横断中の事故1件 でした。

また、前方不注意、自転車乗車中の事故が多く発生しています。

☆例年、この時期は凍結・積雪時の事故が多発しております。冬用タイヤを必ず装着し、時間とゆとりを持って運転しましょう。

～平成28年広島県交通安全スローガン～
 「こんばんは 早めのライトで、ごあいさつ」

